



2025 年 10 月 30 日
京 都 鉄 道 博 物 館

12 月開催のイベントのお知らせ

今月のワークショップは子ども向け♪

「プラ板に描く鉄道アートの世界」

12月には企画展「TRAIIn ART～アートする世界の鉄道展～」関連のワークショップです。プラ板に鉄道車両のイラストを描いて焼き上げてみよう！どんな作品ができるかな♪

【開催日】 12月20日(土)・21日(日)

【開催時刻】 午前の部 ①10:20 ②10:55 ③11:30
午後の部 ④13:20 ⑤13:55 ⑥14:30 ⑦15:05 ⑧15:40
※所要時間は各回約30分

【開催場所】 本館1F 「自然とむきあう」付近

【参加料】 無料 ※要入館料

【参加方法】 開催場所で時間指定の整理券を配布 ※なくなり次第、受付終了
※整理券配布は午前の部 10:00～、午後の部 13:00～

※「京都鉄道博物館 ワークショップスタンプカード」対象です。



▲イメージ

当館の最寄り駅の路線！

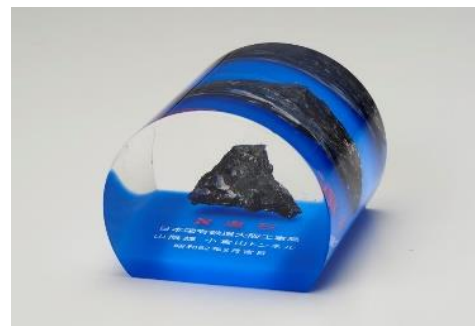
収蔵資料展「嵯峨野線」

普段は展示していない資料をお楽しみいただく収蔵資料展。今回は当館の最寄り駅の路線である嵯峨野線(山陰本線)を取り上げ、複線化や嵯峨野観光鉄道に関する資料をご紹介します。

【開催期間】 12月6日(土)～2026年3月29日(日)

【開催場所】 本館2F 企画展示室横展示ブース

【展示予定】 嵯峨野観光線開通記念絵巻、
山陰本線小倉山トンネル貫通石 ほか



▲山陰本線小倉山トンネル貫通石



1970 年の大阪で開催された万博閉幕後の鉄道に注目

収蔵写真展「1970 年代の鉄道風景」

1970 年、大阪で開催された万博の閉幕後、国鉄が「新快速」を新たに設定し投入。更には山陽新幹線博多開業、特急列車網が発達しました。しかし一方では、各地の蒸気機関車が役割を終え、引退していく時期でもありました。このように鉄道が大きく変化をした時期の写真を展示します。

【開催期間】 12 月 13 日(土)～2026 年 4 月 5 日(日)

【開催場所】 本館 3 F ギャラリー

【展示予定】 新快速と特急「しおじ」、
さよなら蒸気機関車 ほか



▲新快速と特急「しおじ」

普段は見学出来ない車両を公開！

特別な車両公開「100 系新幹線電車 122 形 5003 号車」

当館では週末を中心に、展示車両の車内を公開しています。

公開車両は、100 系新幹線電車 122 形 5003 号車です。100 系新幹線電車は、0 系新幹線電車の後継車として登場した車両で、当館で展示している 122 形 5003 号車は 1989(平成元)年に製造されたモーター付きの先頭車です。車内は、山陽新幹線「こだま」として走行していた時の姿を留めており、座席はグリーン車を使用していますが、普通車であるため左右 2 列で配置しています。最高速度は 0 系新幹線電車を上回る時速 230 キロで、往時は「グランドひかり」として活躍しました。午前はスタッフの簡単な解説付き、午後は自由見学です。是非この機会にご見学ください。

【開催日】 土曜日・日曜日

【開催場所】 本館 1 F 100 系新幹線電車 122 形 5003 号車

<車両解説付き公開>

【開催時刻】 ①10:30 ②11:00 ③11:30 ※所要時間各回約 20 分

<自由見学での公開>

【開催時間】 13:30～16:30

※先着順、開催時刻までに**本館 1 F クハ 489 形 1 号車前**へお越しください。

※「車両解説付き」は各回定員(20 名)に達し次第、受付を終了します。予めご了承ください。



▲100系新幹線電車122形5003号車

冬休み期間中の体験展示のお知らせ

軌道自転車体験

【開催日】 土曜日・日曜日・祝日

※12 月 24 日(水)～2026 年 1 月 4 日(日)は毎日開催

【受付時間】 10:00～16:30(12:00～13:00 は休止)

鉄道ジオラマ

【開催時刻】 日程により異なります。

詳しくは当館公式 Web サイトをご確認ください。

※所要時間約 10 分～15 分

※12 月 27 日(土)～2026 年 1 月 4 日(日)は開催回数が増！



▲軌道自転車



▲鉄道ジオラマ

12月の「おとなの学び講座」は特別編！

「500系『こだま』8両化の設計者とメンテナンス技術者が語る秘話」

2008年12月1日から「こだま」として活躍している500系新幹線電車。16両編成から8両編成への改造時の様々な課題克服、その後の改良や車両メンテナンスの取り組みについて、当時車両改造設計の第一線で活躍した技術者が秘話を交えてトークセッションを行います。

【開催日】 12月7日(日)

【開催時間】 14:00～15:00 ※所要時間60分

【開催場所】 本館3F ホール

【テーマ】 「500系『こだま』8両化の設計者とメンテナンス技術者が語る秘話」

【参加料】 無料 ※要入館料

【定員】 約50名 ※先着順、開催時刻15分前に開場

【登壇者】 西日本旅客鉄道株式会社 イノベーション本部 担当部長 井澤 道晴氏
西日本旅客鉄道株式会社 車両部車両設計室 課長 池口 信行氏
西日本旅客鉄道株式会社 車両部車両設計室 担当課長 豊岡 誠氏

【司会】 京都鉄道博物館 副館長 松井 元康

※「京都鉄道博物館 おとなの学び講座スタンプカード」対象です。



井澤 道晴(いざわ みちはる)氏

兵庫県出身。2000年西日本旅客鉄道株式会社入社。在来線車両所の車両保守、本社技術部での新幹線用パンタグラフの技術開発、本社車両部車両設計室で500系短編成化改造車両へ技術部時代に開発したパンタグラフの搭載、ならびにN700系7000番代(JR九州直通車両)・W7系(北陸新幹線車両)の車体艤装の設計を担当。その後博多総合車両所運用センター長等を歴任。現在、本社イノベーション本部で業務プロセス変革のプロジェクトを推進。



池口 信行(いけぐち のぶゆき)氏

神奈川県出身。1999年西日本旅客鉄道株式会社入社。在来線車両の保守、運転士、指令員、新幹線車両の品質管理業務、本社車両部車両設計室で500系短編成化改造、N700系7000番代・W7系新製に車両用電気機器、保安装置、ブレーキ装置を担当。JR東日本本社設計部門出向、博多総合車両所技術科長・電車センター長、本社新幹線企画部課長を歴任。現在、新幹線車両の設計管理に従事。



豊岡 誠(とよおか まこと)氏

兵庫県出身。2000年西日本旅客鉄道株式会社入社。新幹線の車両保守、東京指令所での指令員、本社技術部での技術開発や車両部車両設計室での設計業務、博多総合車両所での新幹線の品質管理に従事。500系、700系、N700系のメンテナンスに携わる。現在、新幹線車両の設計を担当。



松井 元康(まつい もとやす)氏

大阪府出身。1992年西日本旅客鉄道株式会社入社。1995年技術開発推進部でWIN350走行試験を担当。その後、吹田工場車両科長、総合企画本部課長、博多総合車両所長、金沢支社副支社長(新幹線業務)等を歴任。金沢支社副支社長時に北陸新幹線敦賀開業の準備と運営に従事。2024年より現職。